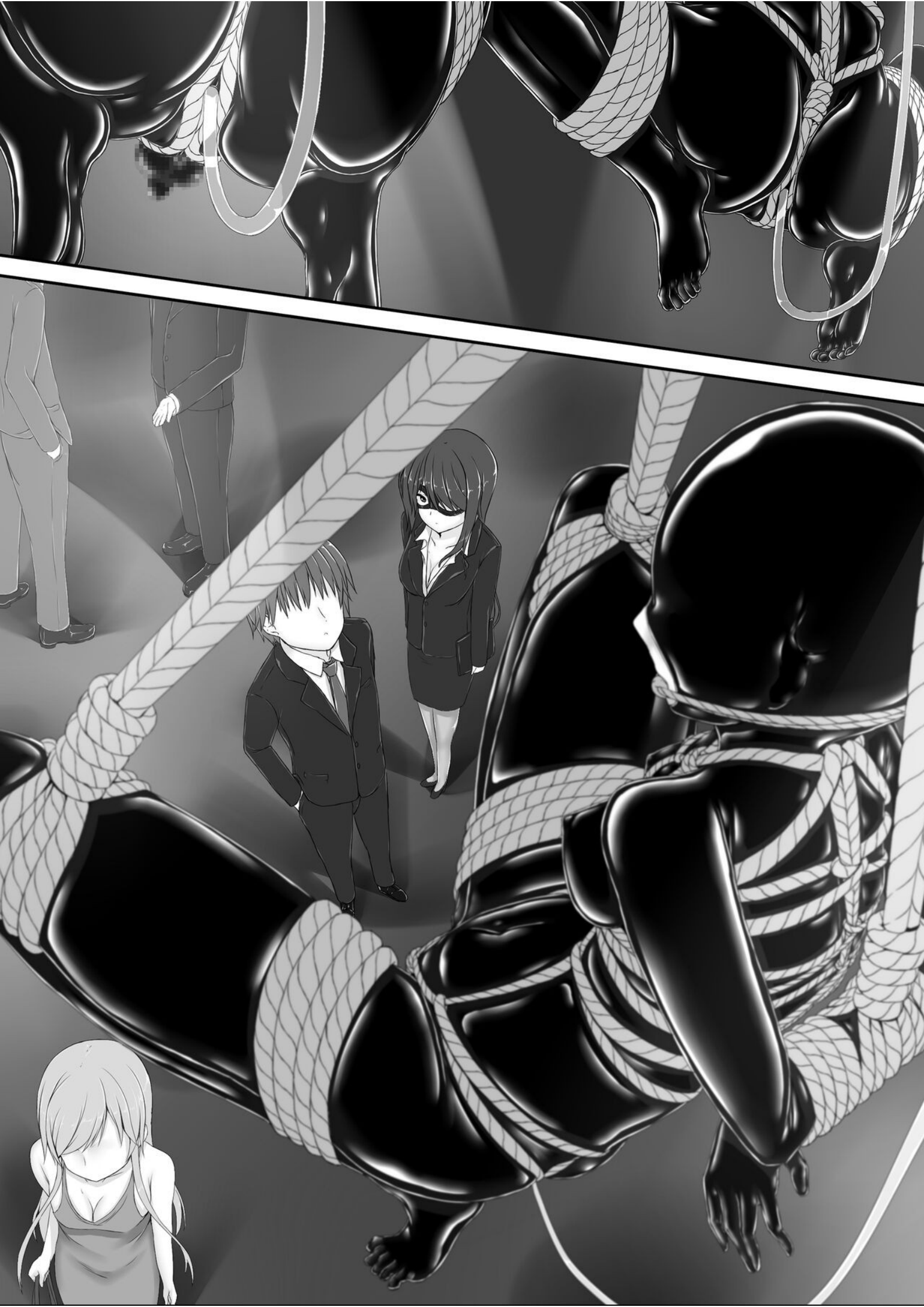
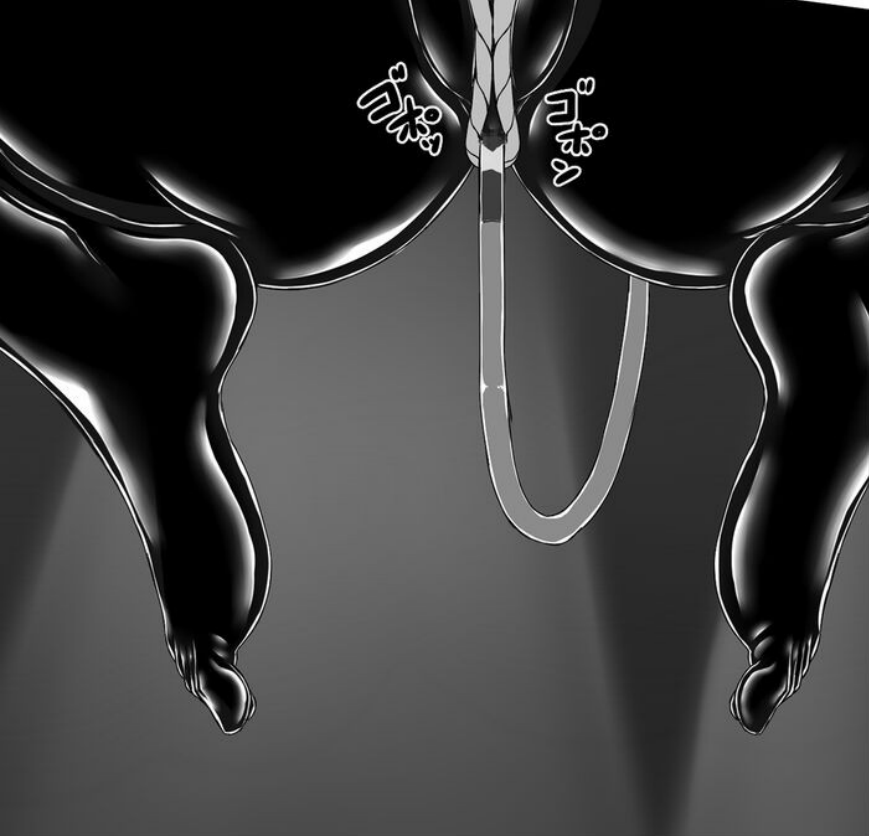
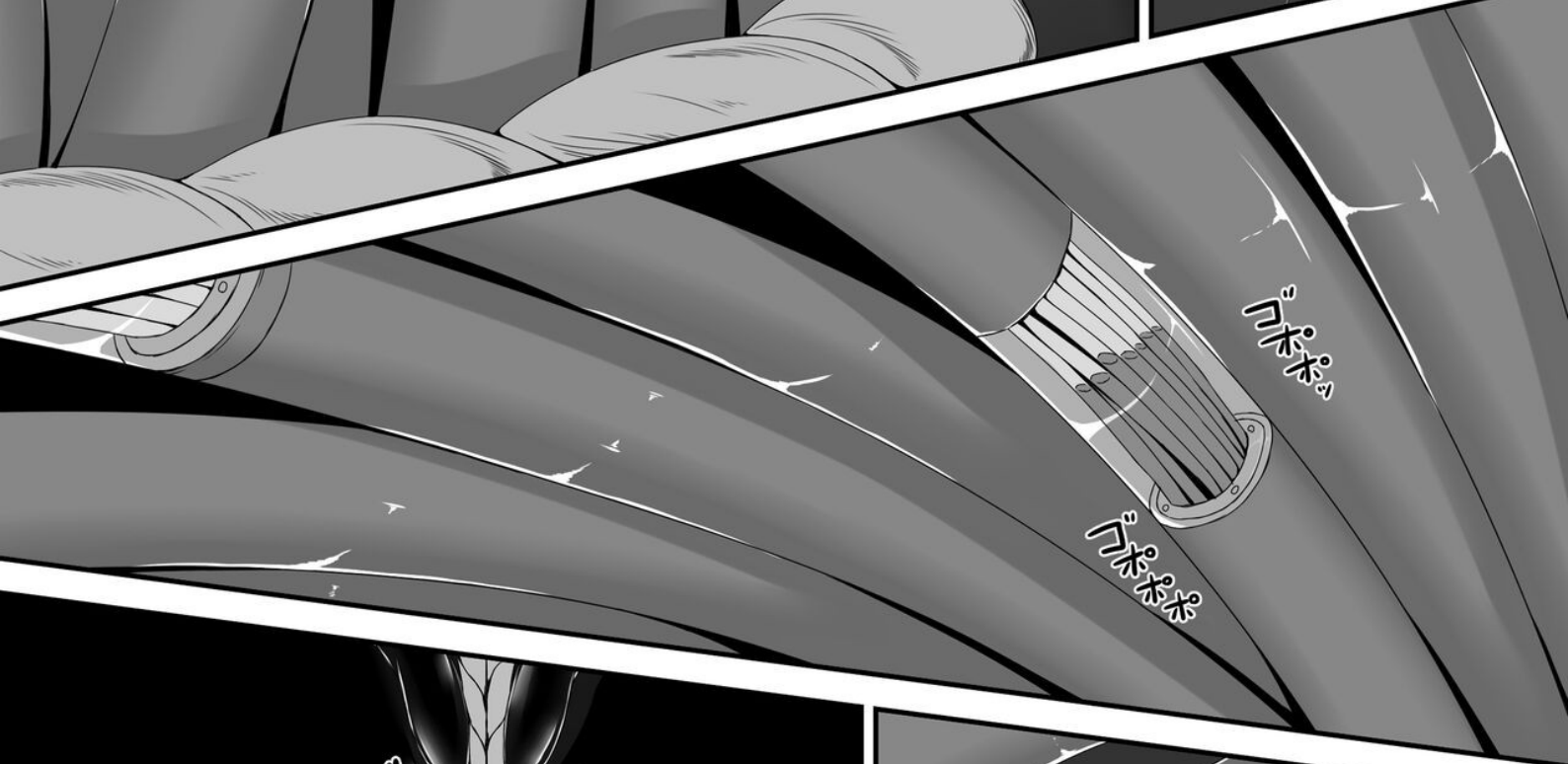
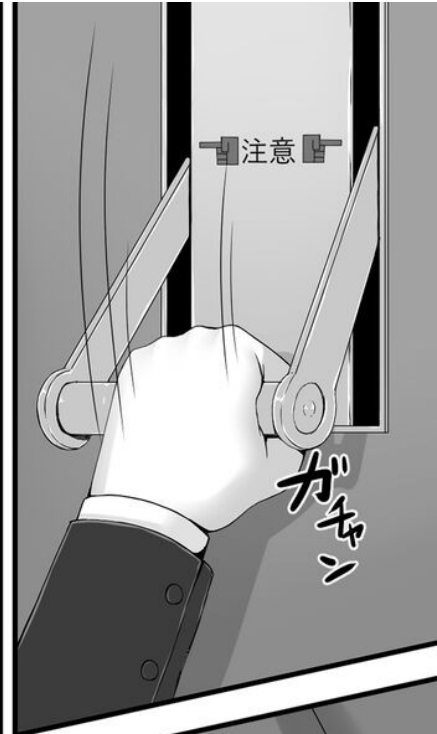
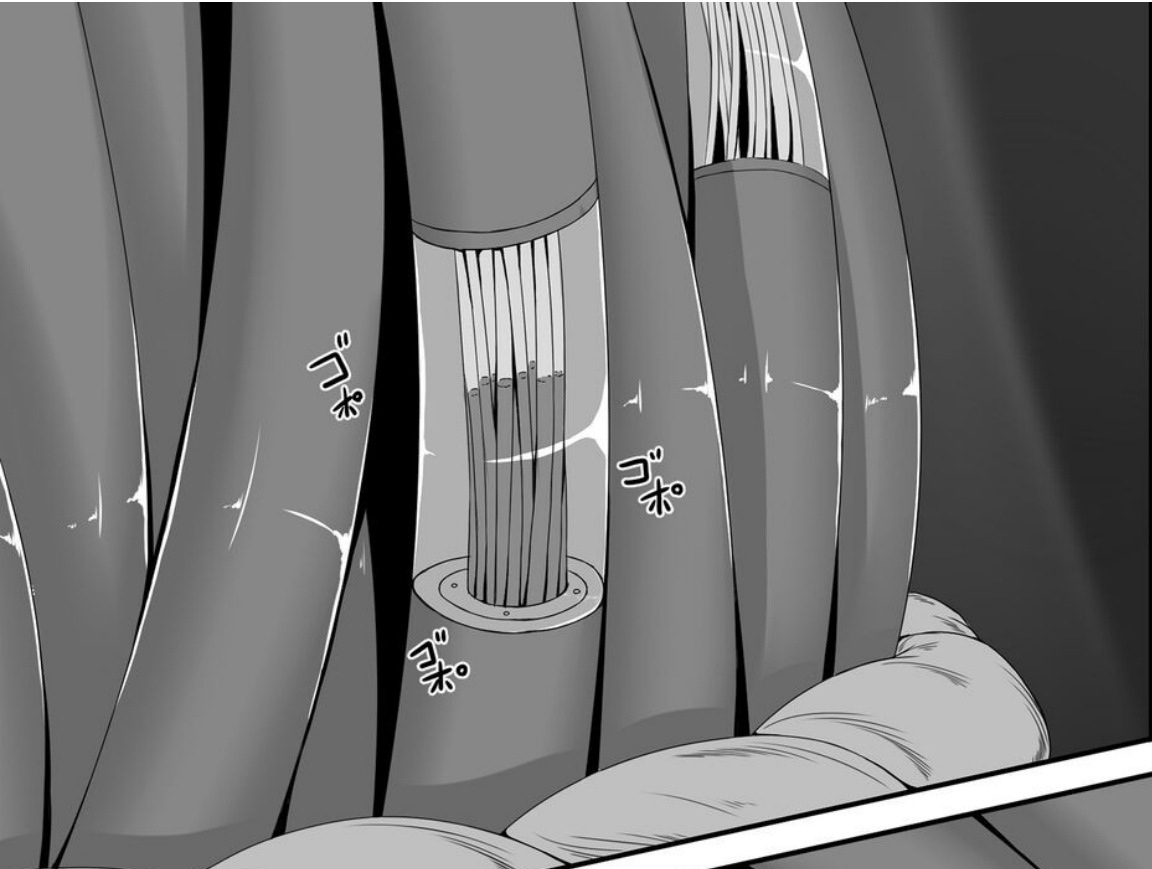
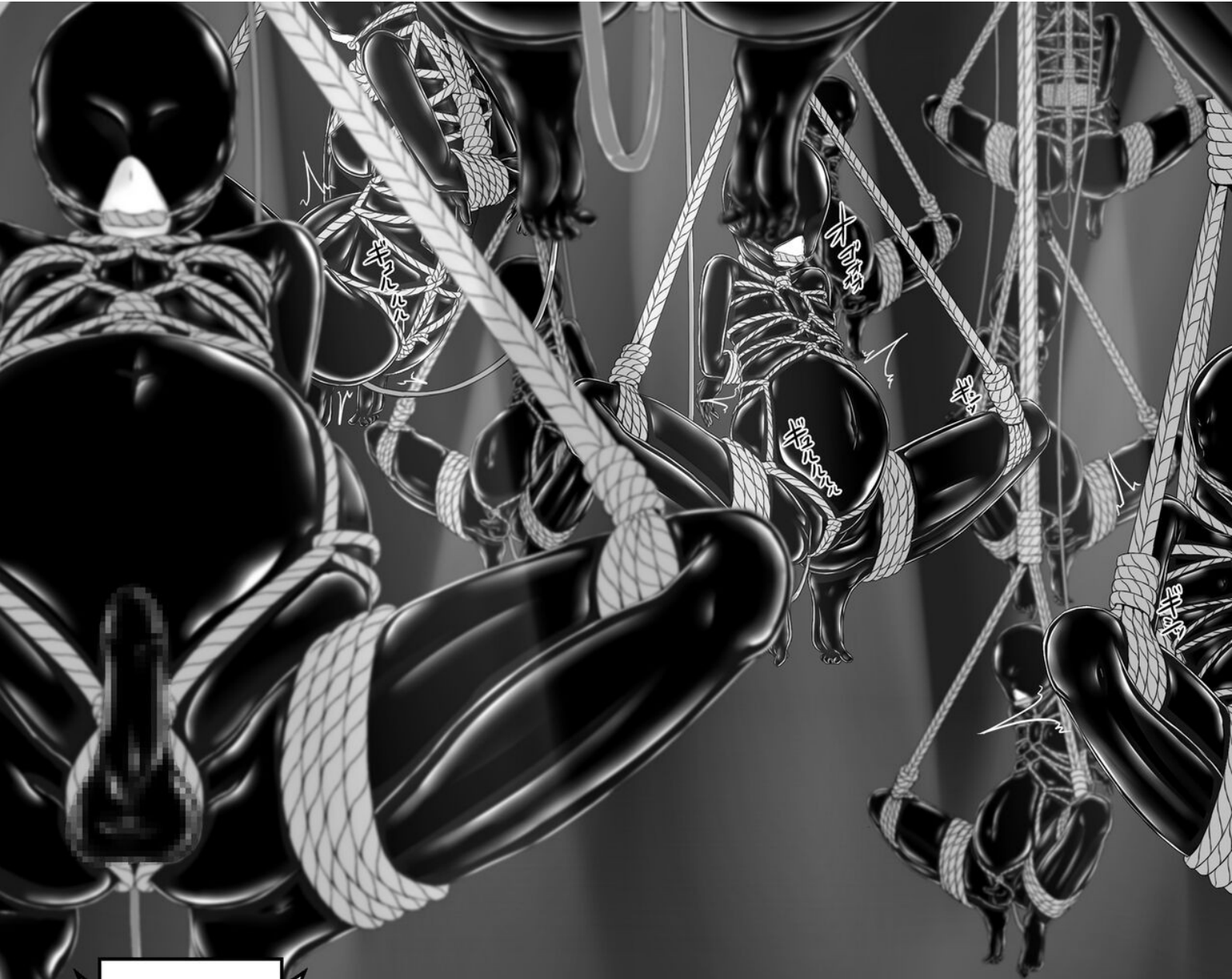


Beginning black8_下

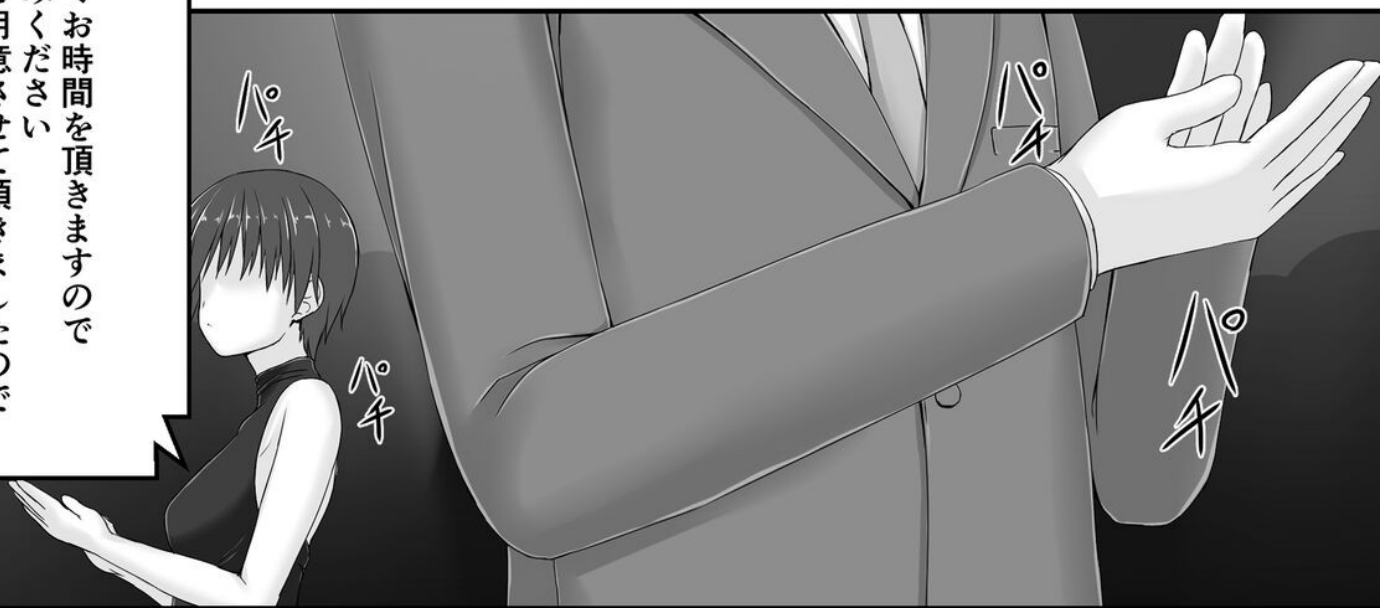








以上『実り』でした
次のステージまで少々お時間を頂きますので
アート展示をお楽しみください
上の階にてお食事をご用意させて頂きましたので
ご利用のうえ今しばらくお待ちください





次のステージは
二時間程後になるそうです

.....

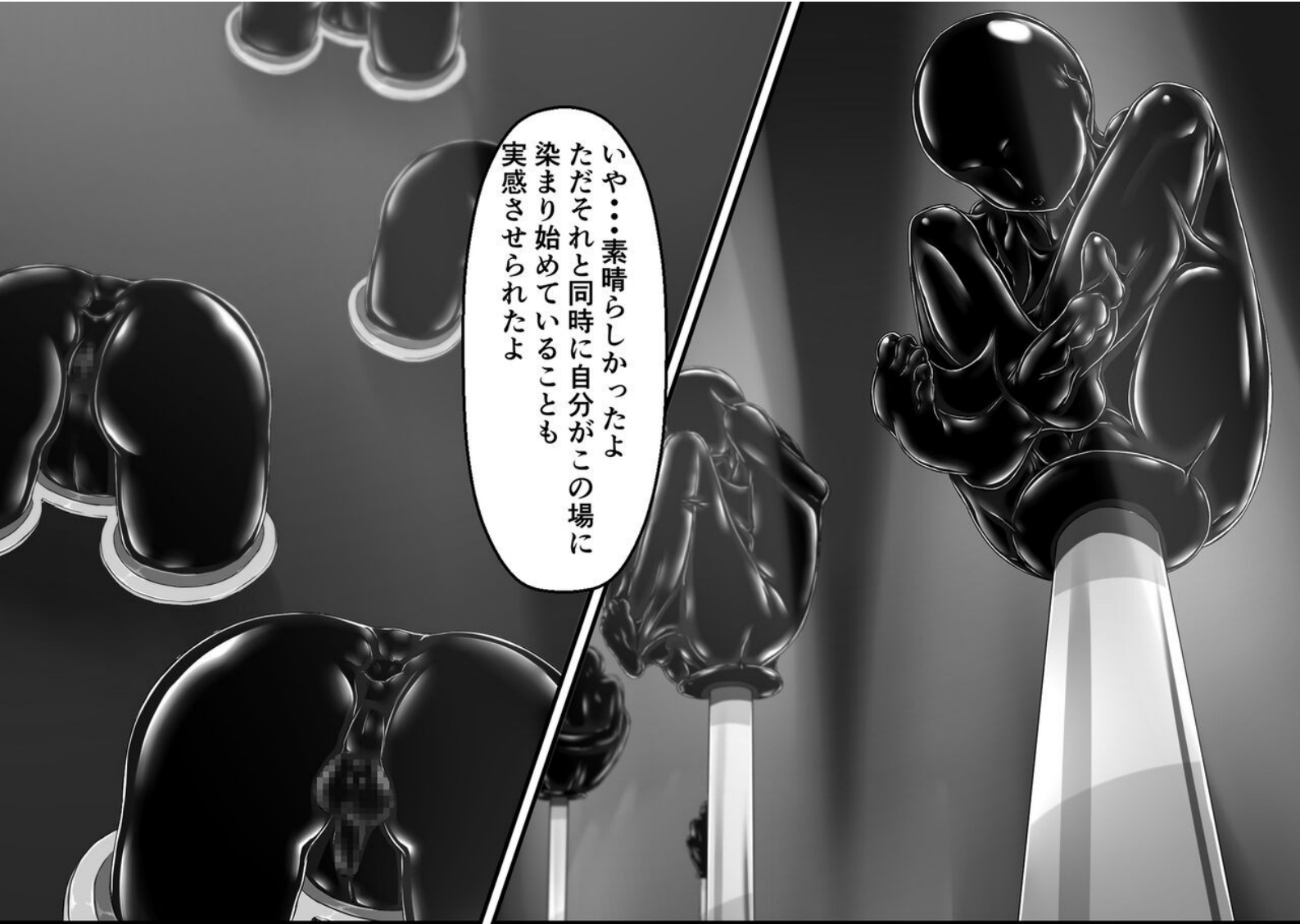


どうかなされましたか？

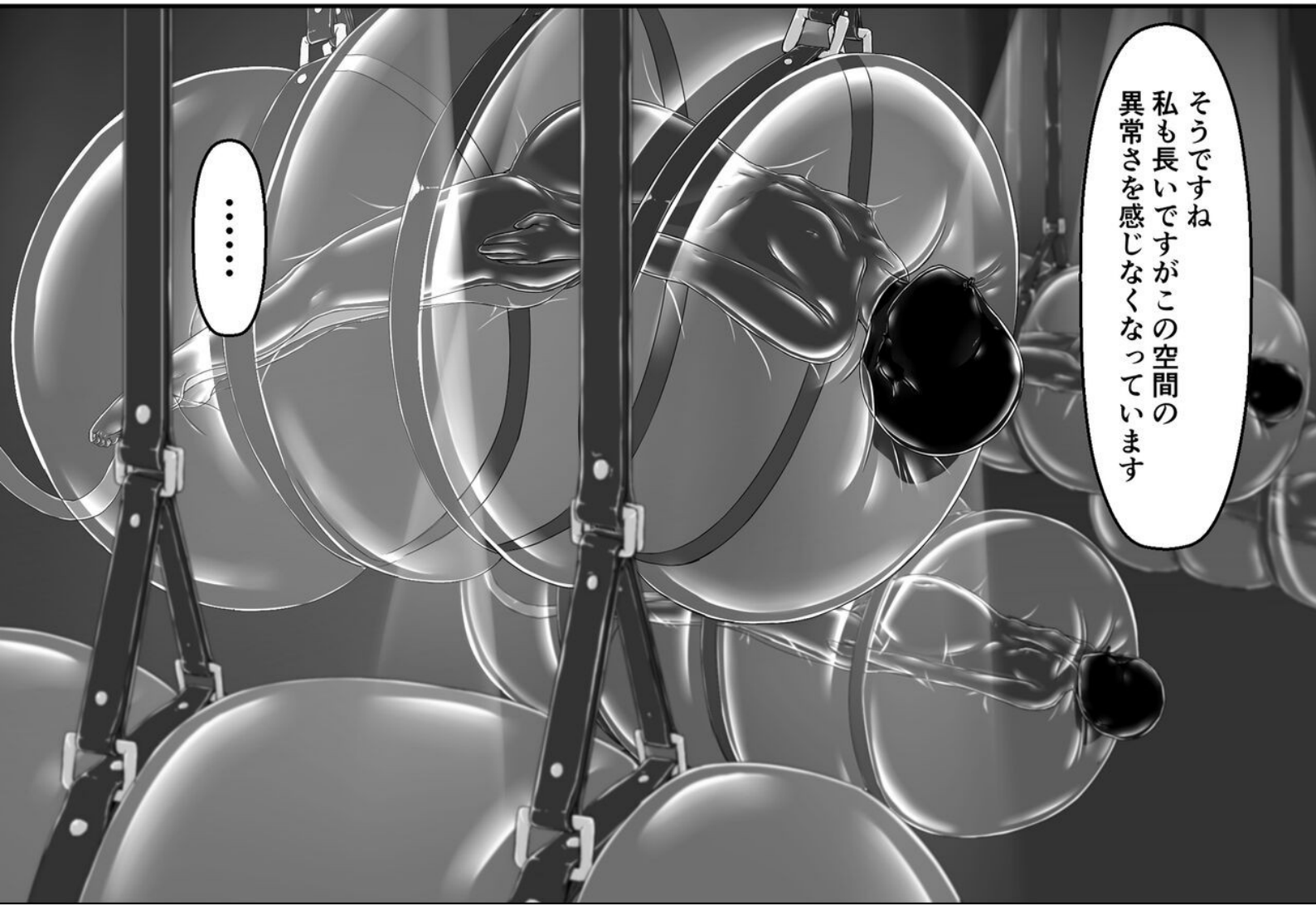
.....いや
なかなかひどいものを
見せられたな.....と



お気に召しませんでしたか？

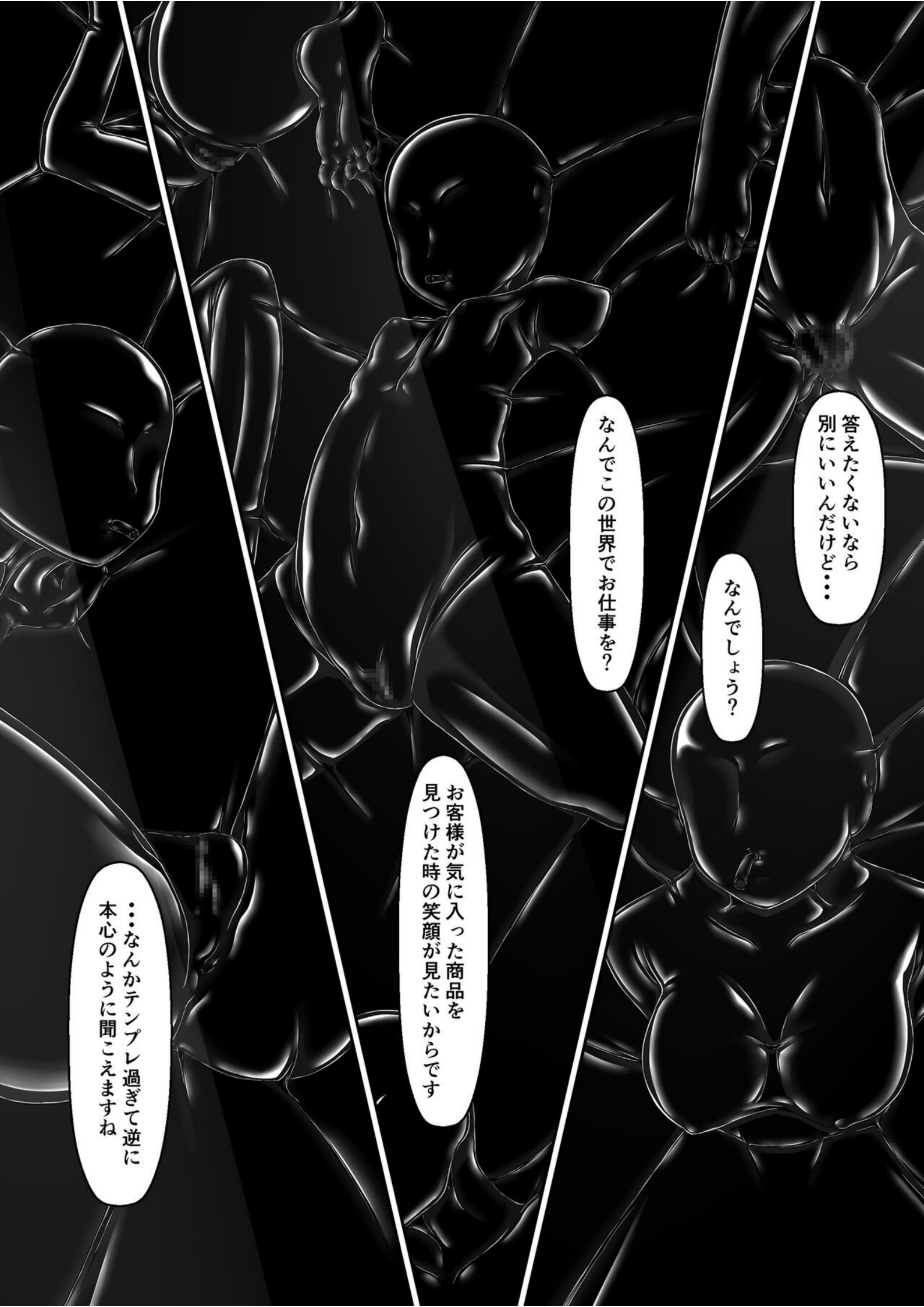


いや……素晴らしかったよ
ただそれと同時に自分がこの場に
染まり始めていることも
実感させられたよ



そうですね
私も長いですがこの空間の
異常さを感じなくなっています

.....



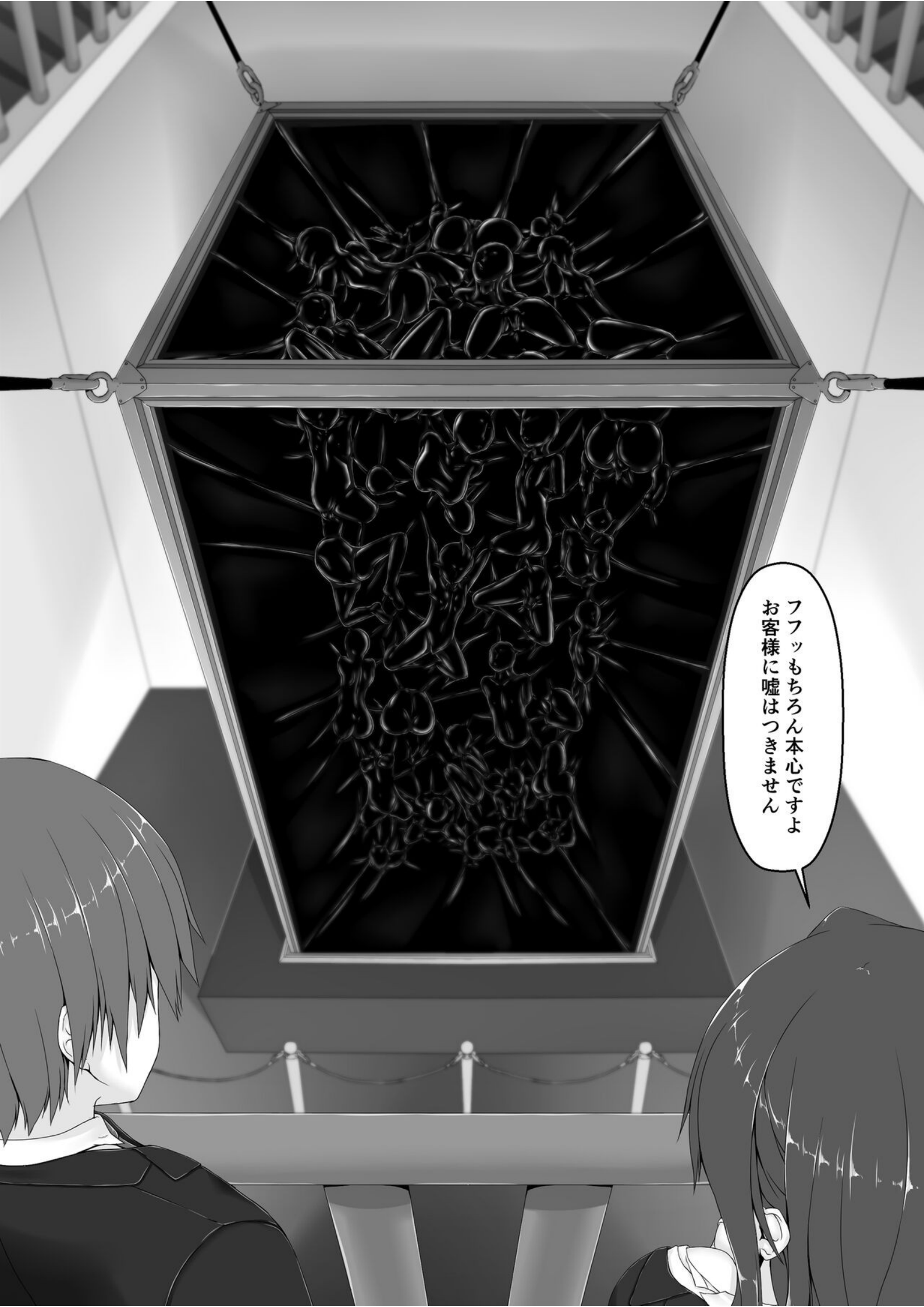
答えたくないなら
別にいいんだけど……

なんででしょう？

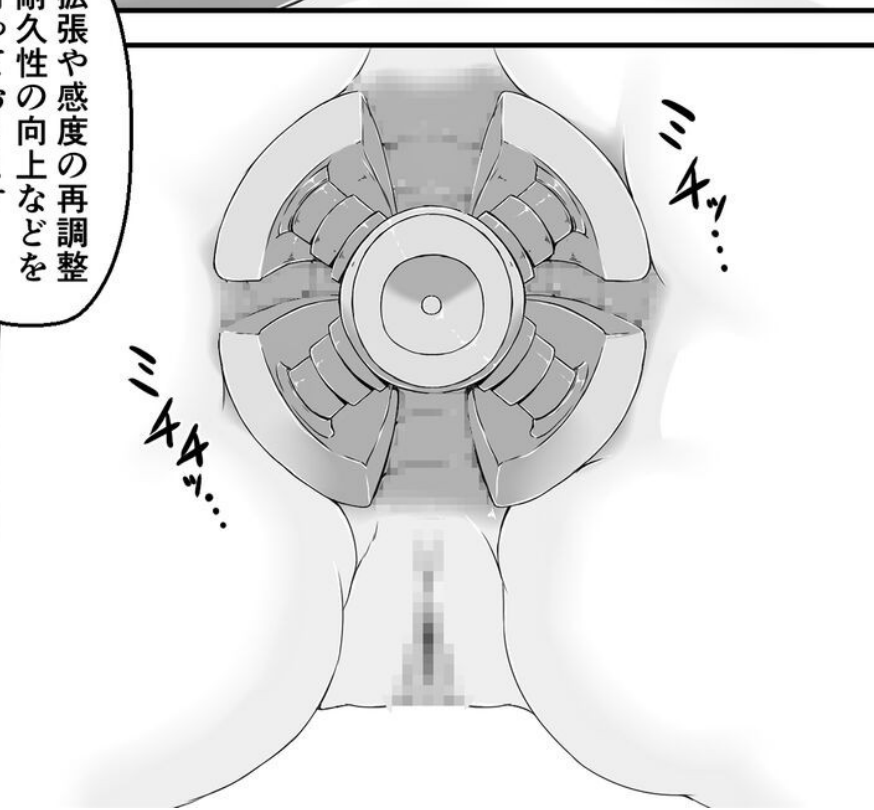
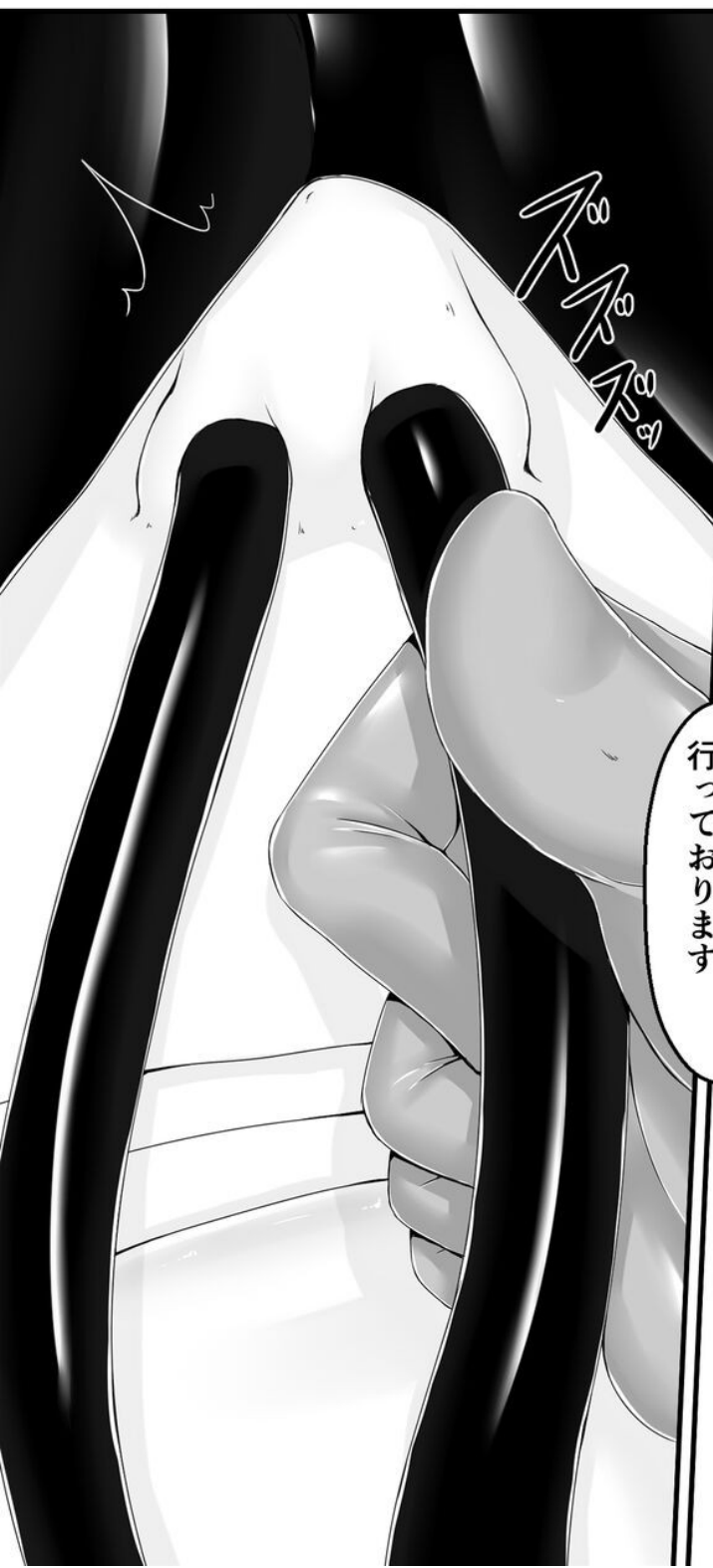
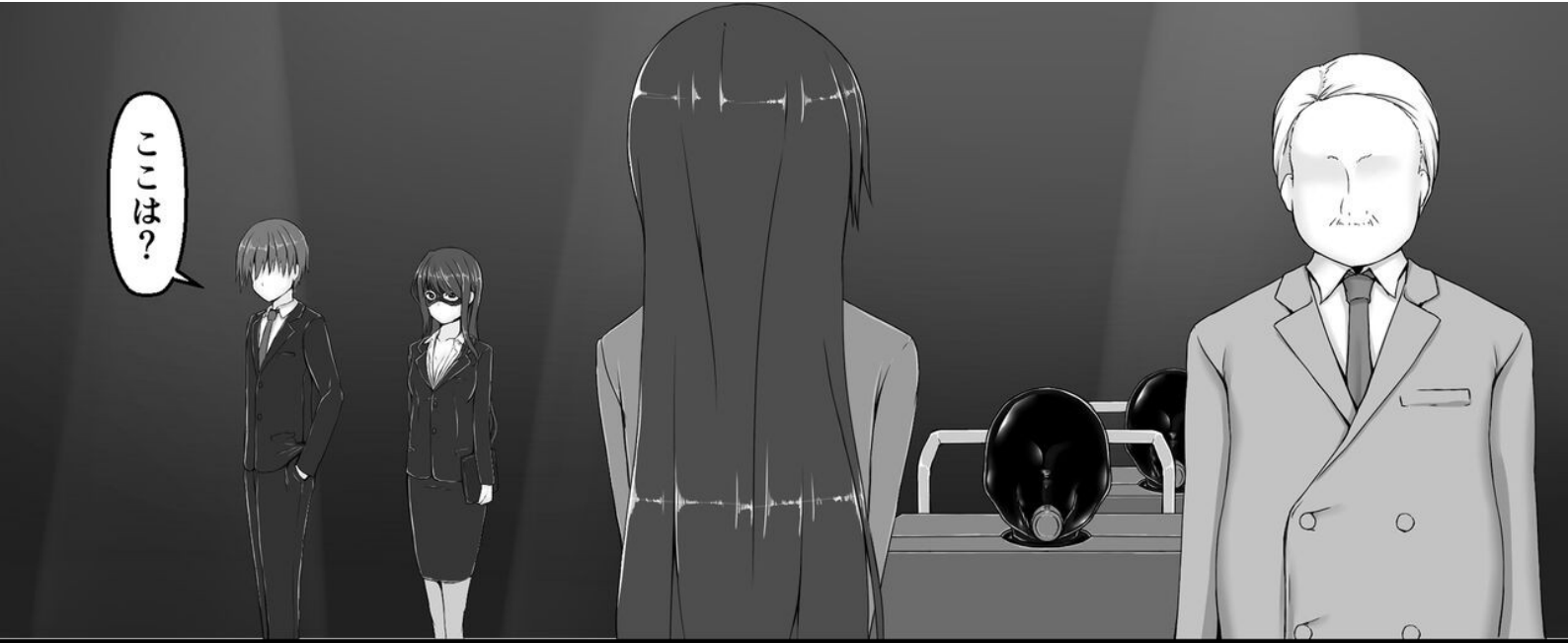
なんでこの世界でお仕事を？

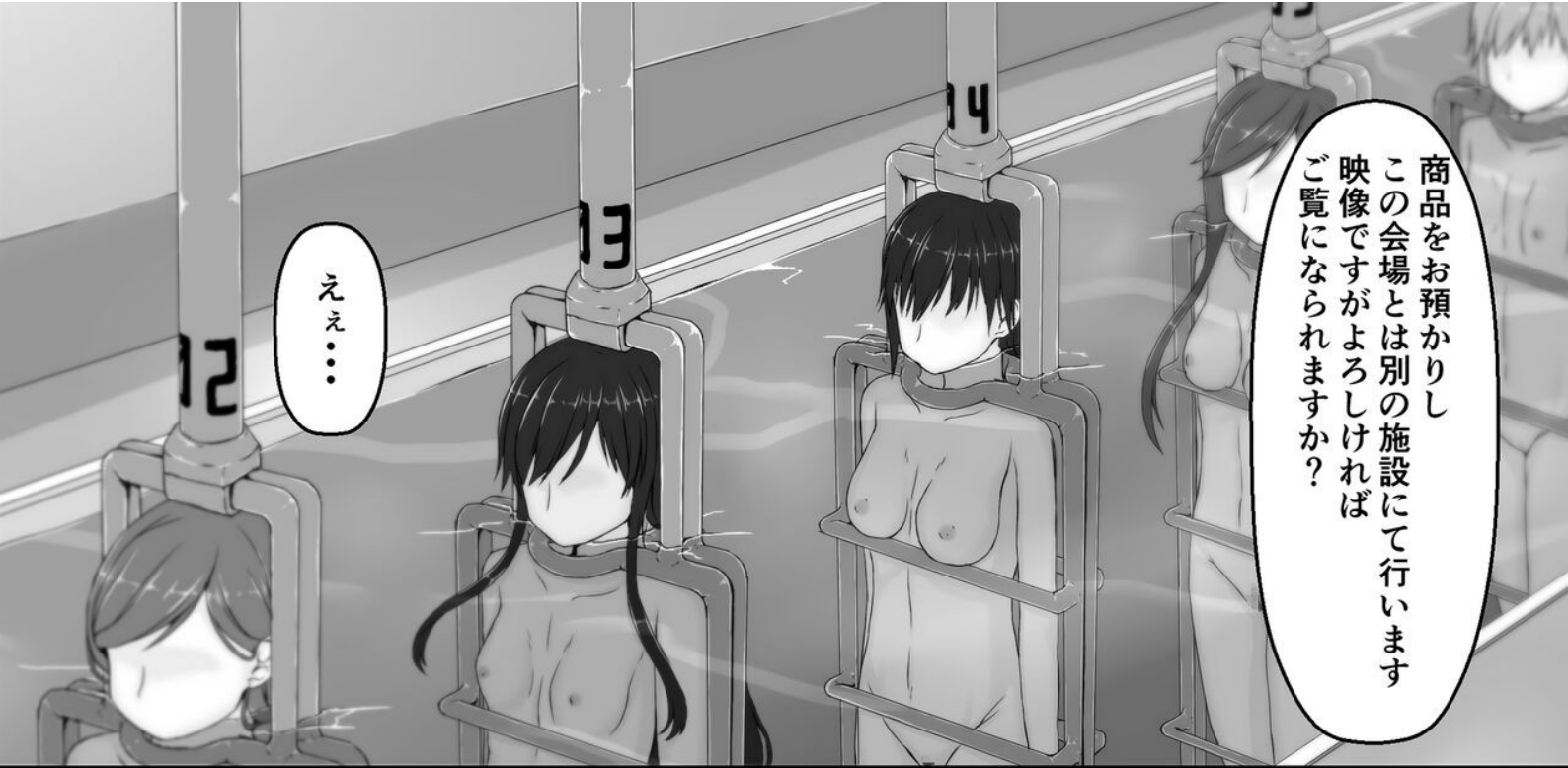
お客様が気に入った商品を見つけた時の笑顔が見たいからです

……なんかテンプレ過ぎて逆に
本心のように聞こえますね



フフッもちろん本心ですよ
お客様に嘘はつきません





ええ…

商品をお預かりし
この会場とは別の施設にて行います
映像ですがよろしければ
ご覧になれますか？



牛や豚ほど
手間もかかりませんよ

まるで牧場ですね



そろそろ次のステージが
始まりますので向かいましょうか

そうですね

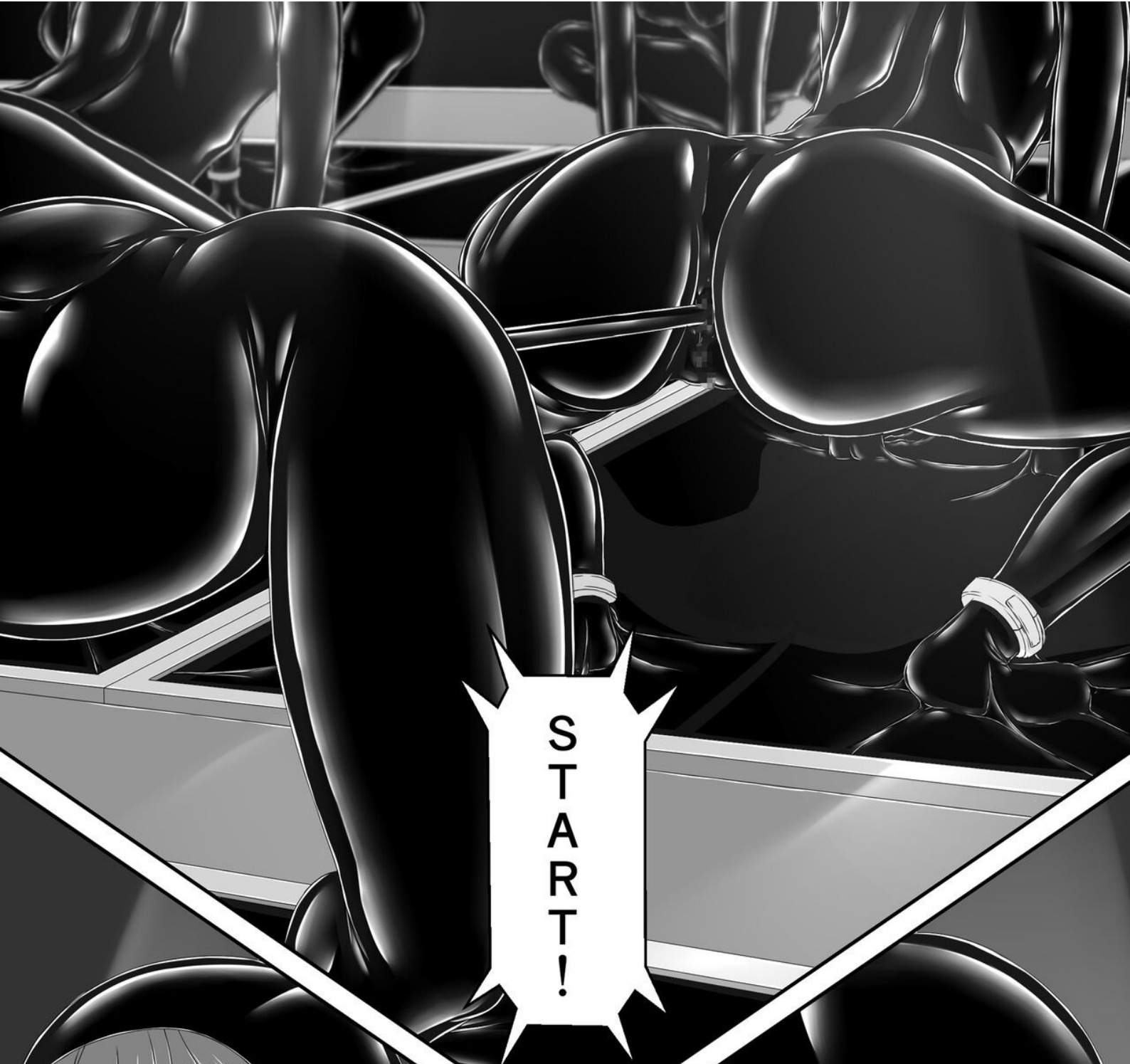
ちなみに海外までの
輸送はできますか？

ええもちろん









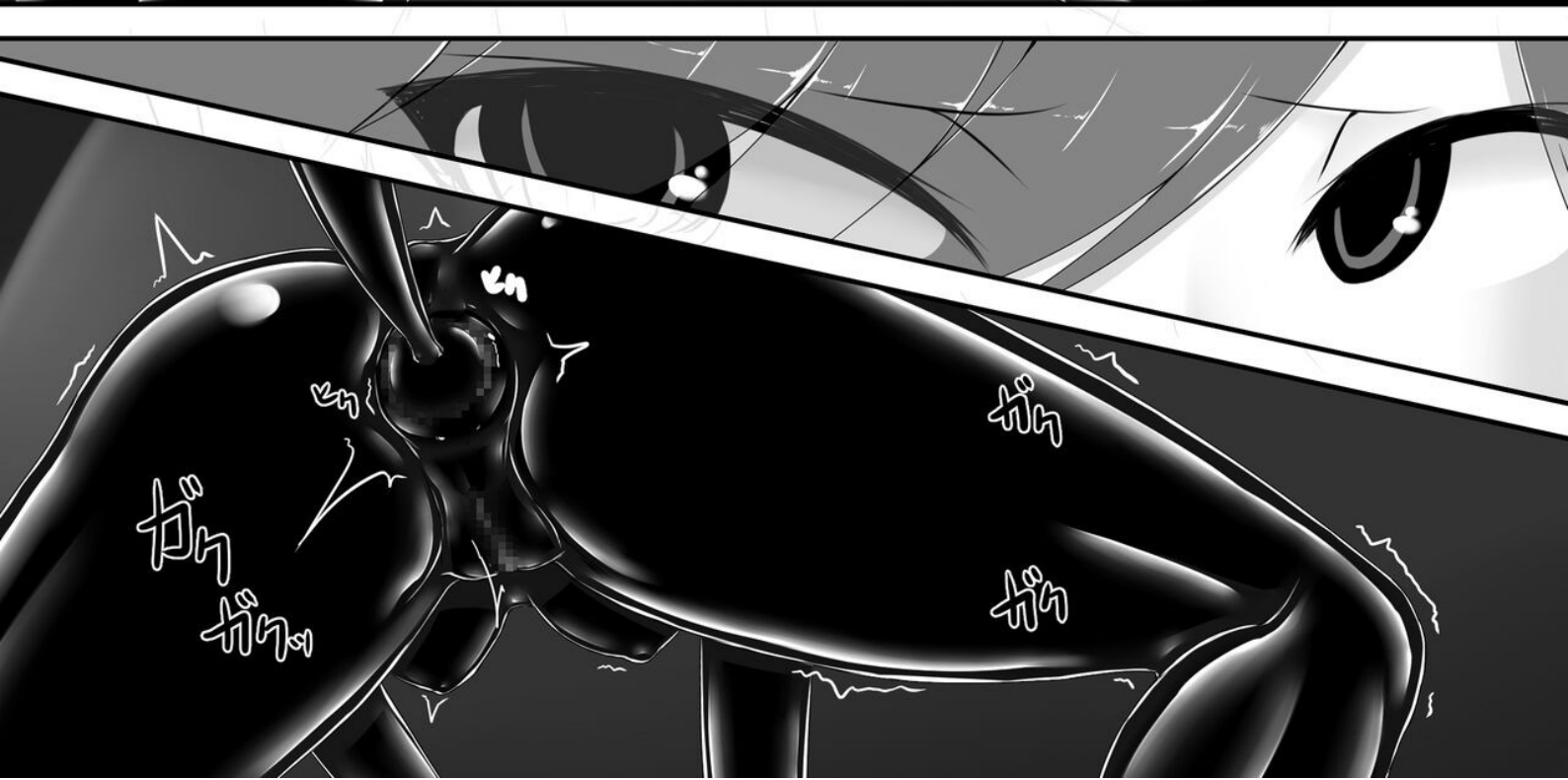
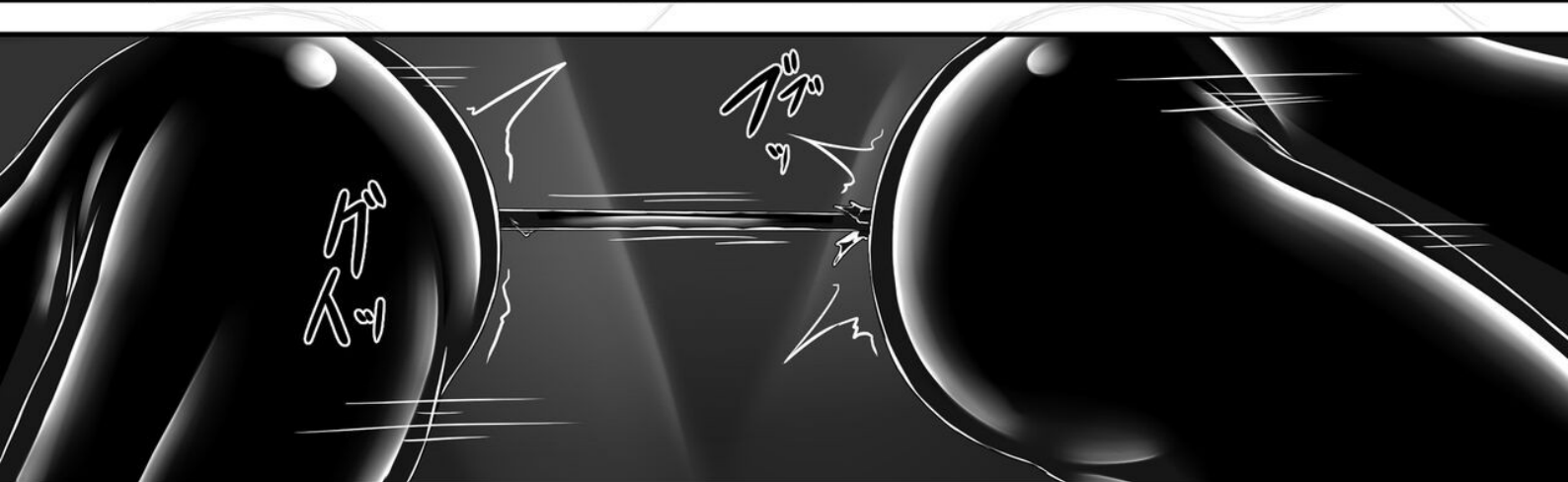
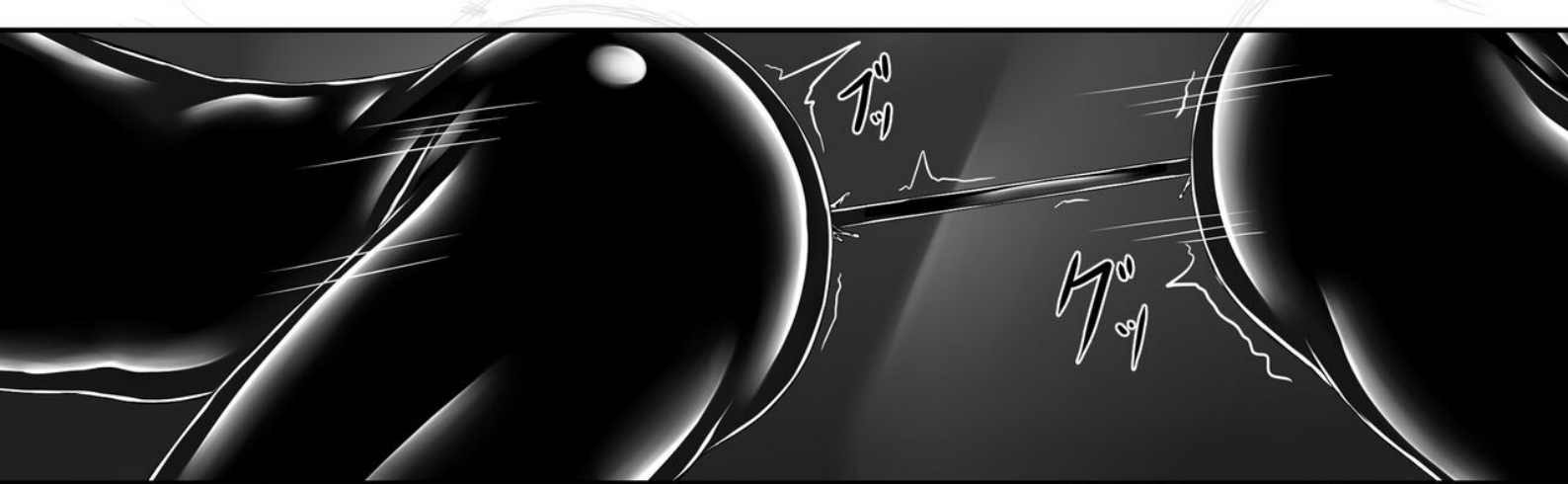
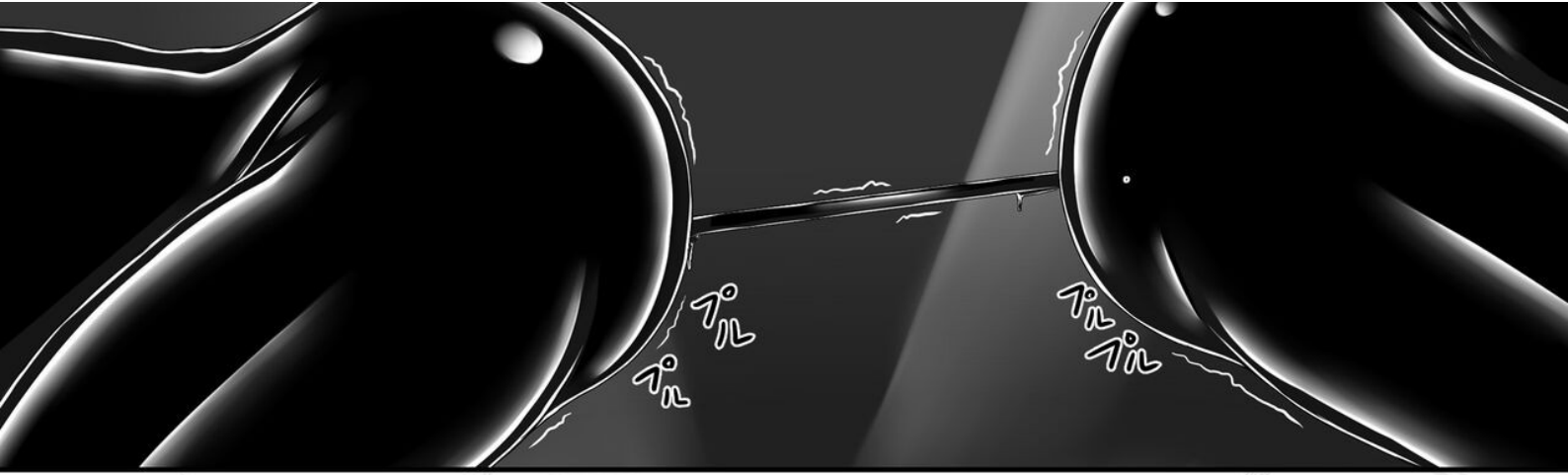
START!

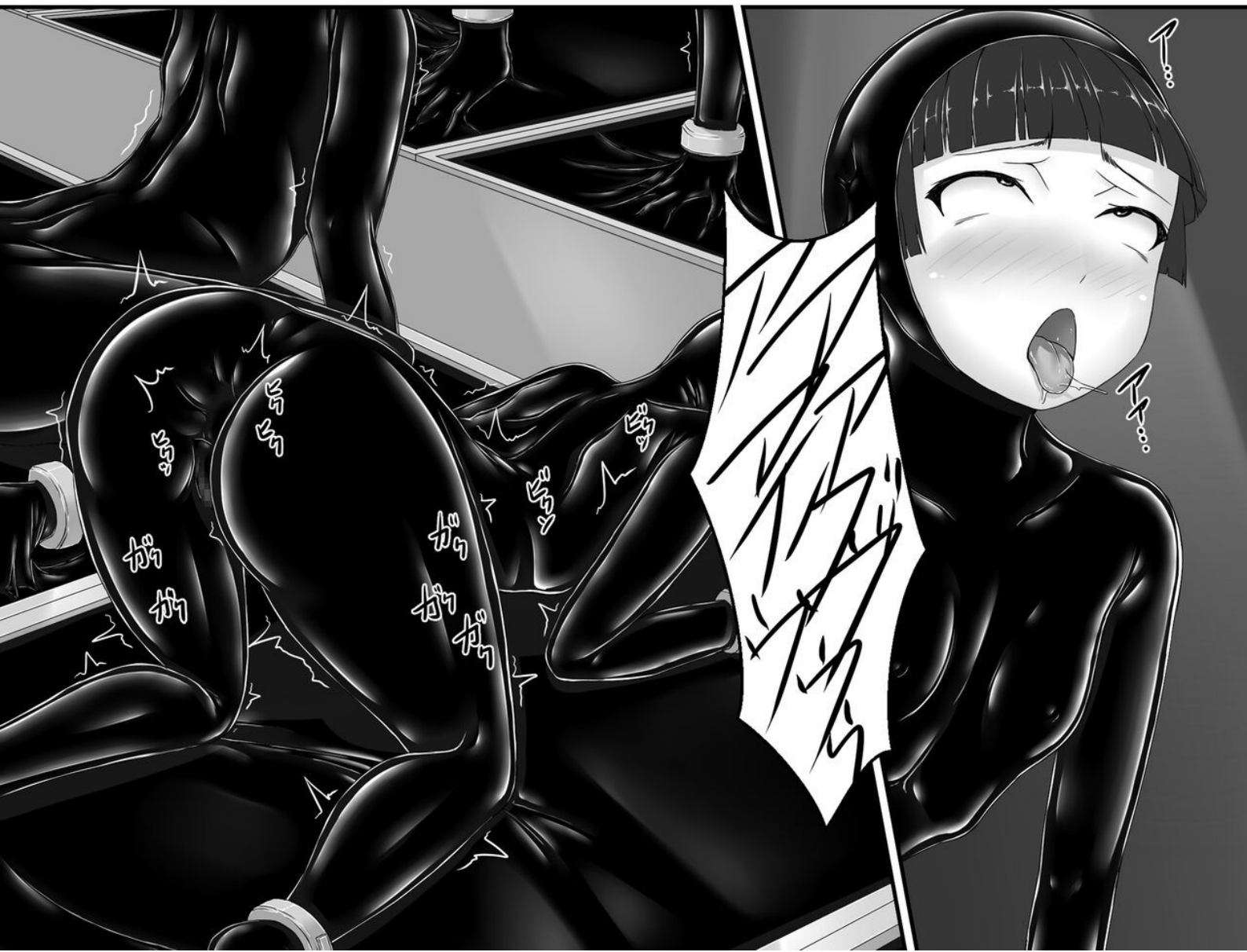
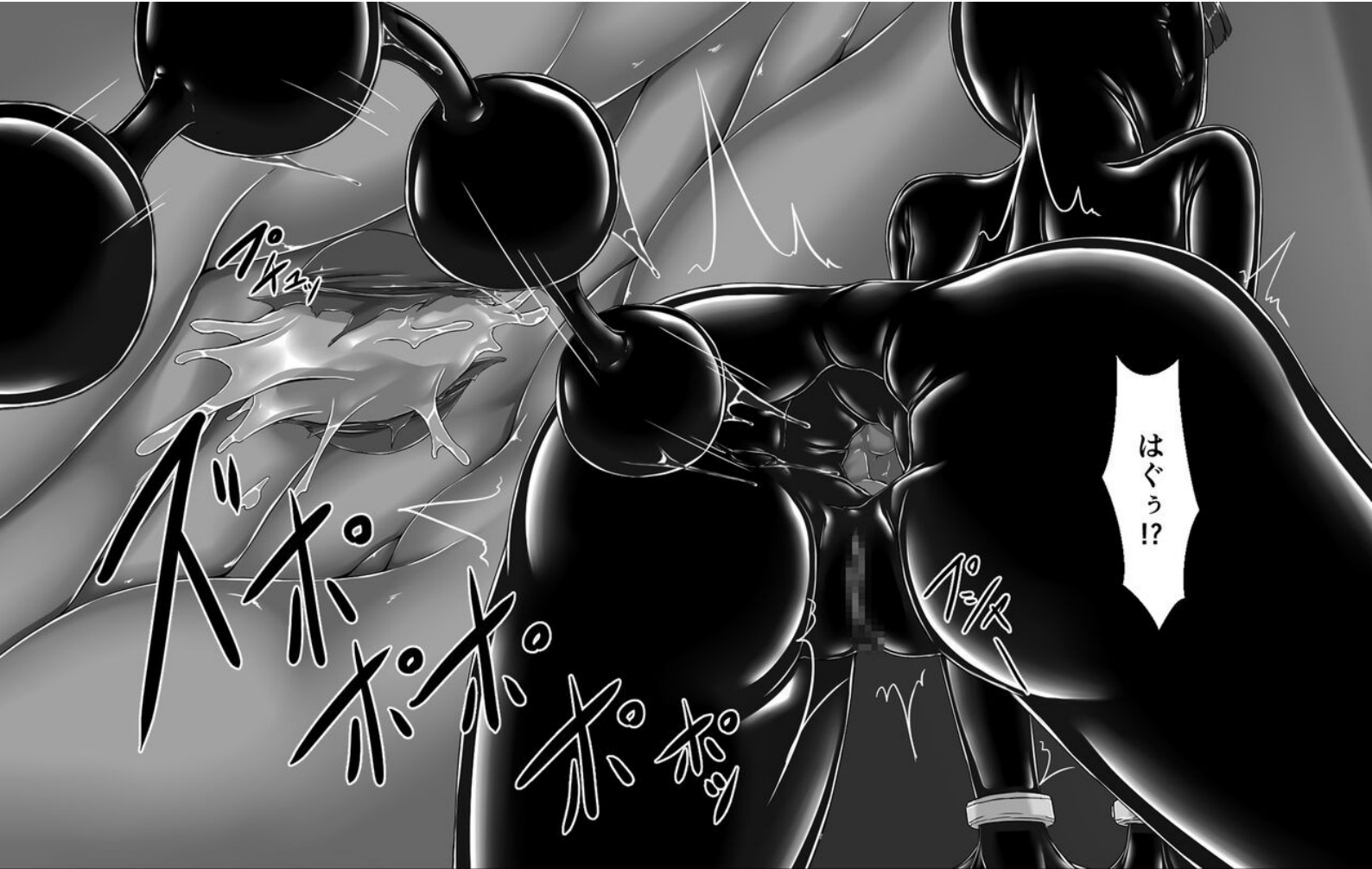


イヤッ
あノ薬はイヤッ!



イヤだイヤだイヤダ!







すごい叫び声ですね

そうですね
負けた側は強力な
薬を投与されるように
なっています

そんなに
強力なんですか？

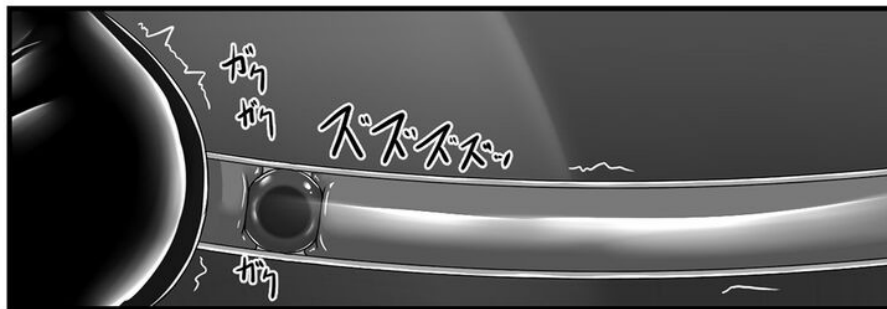
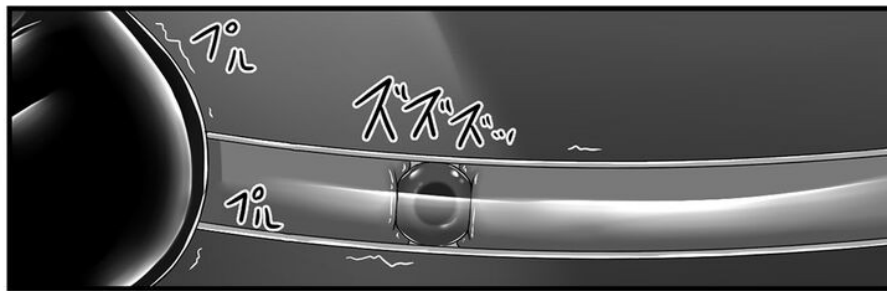
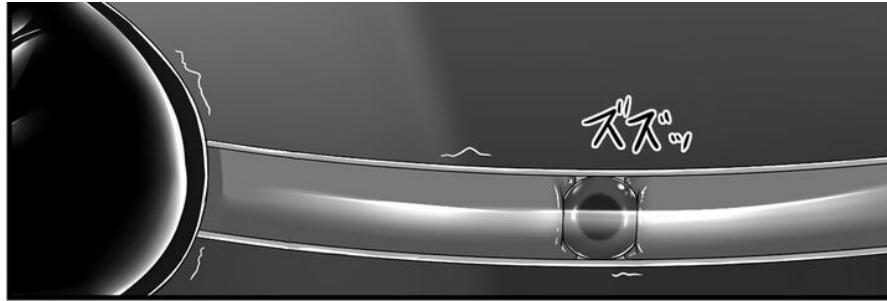


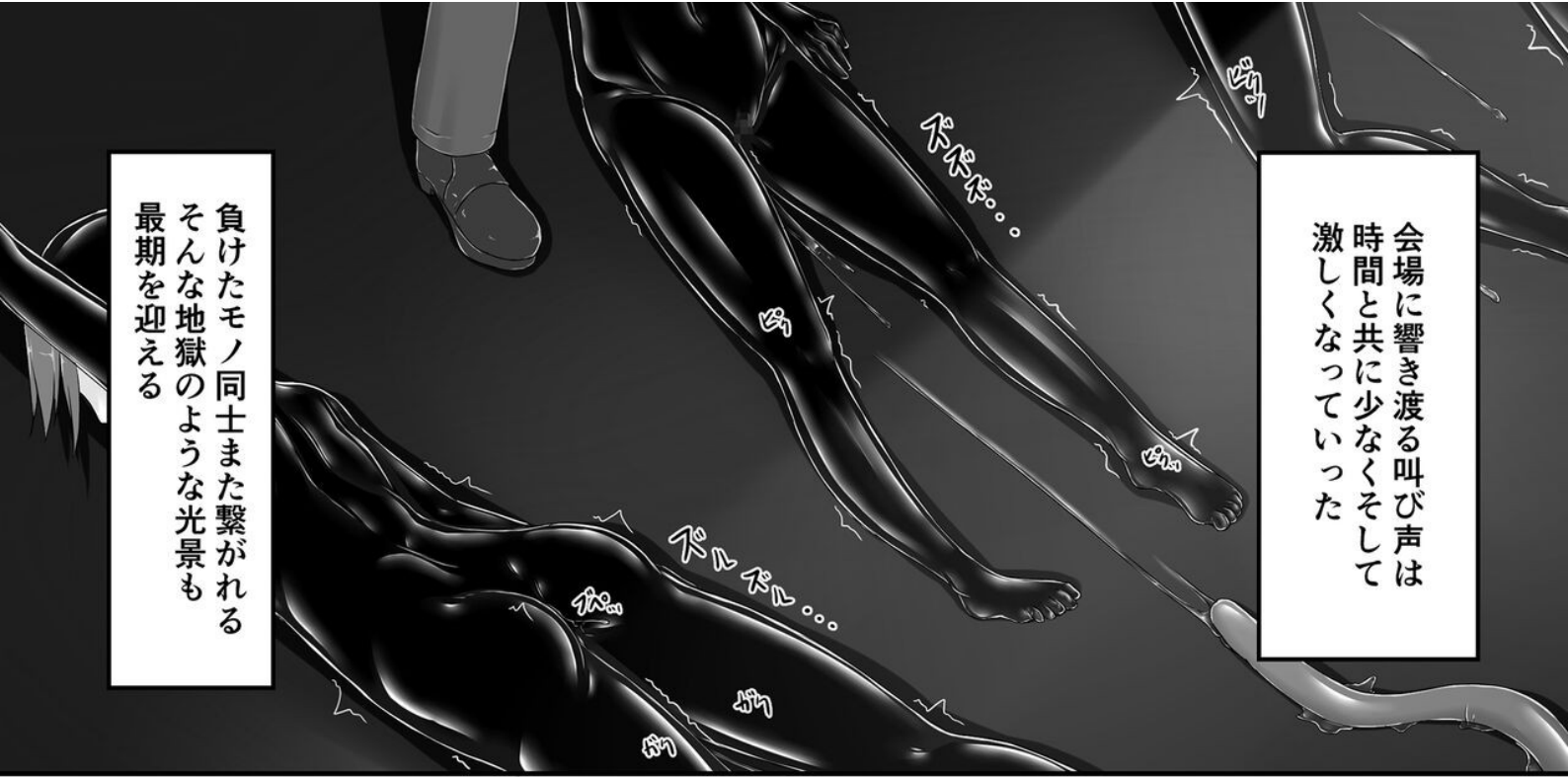
我々の調教を受けていない
体では耐えられないでしょうね



ふうふうふうふう...

なんでっ? なんではいってくるのよ!
出そうとイきんでるのにはいってくるっ
あの薬だけは二度とイヤ絶対イヤ!
怖い怖い助けてっ...



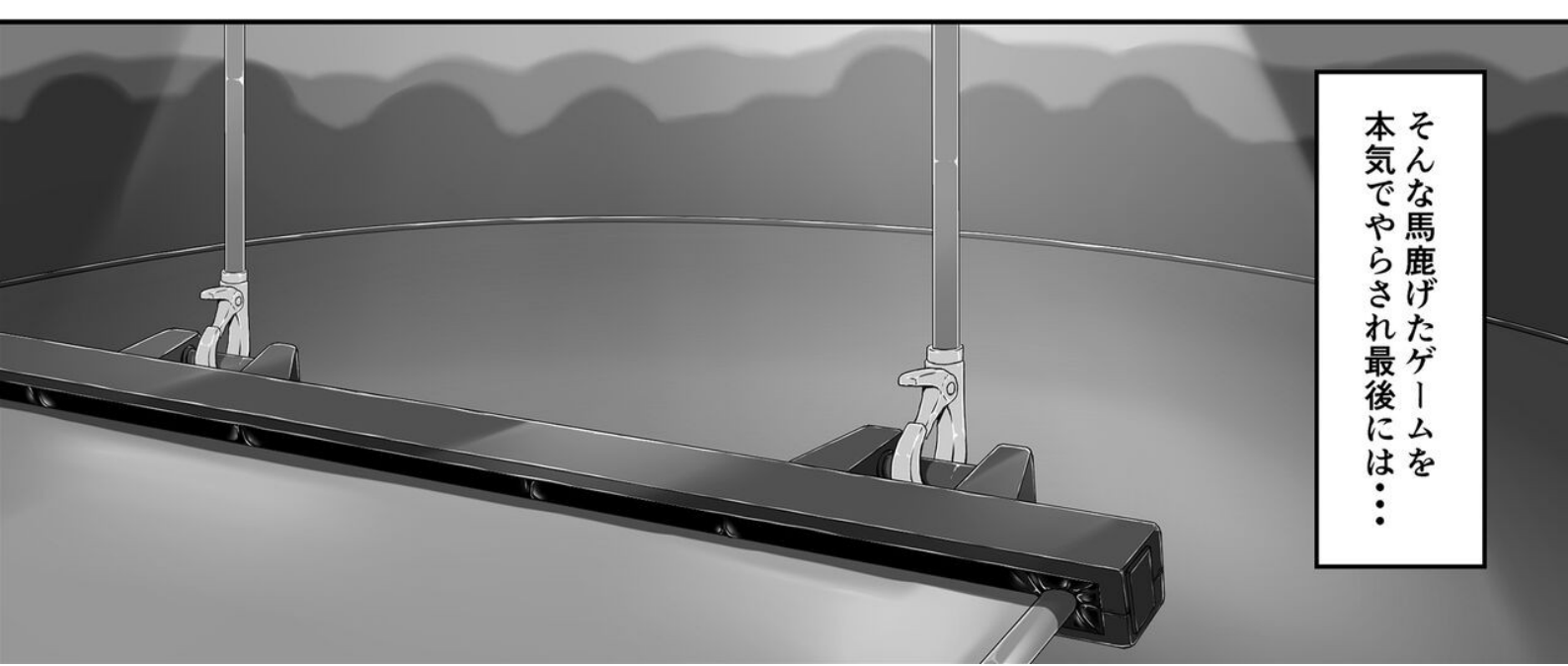


会場に響き渡る叫び声は
時間と共に少なくそして
激しくなっていた

負けたモノ同士また繋がれる
そんな地獄のような光景も
最期を迎える



それではこれより
敗者の公開処刑を行います



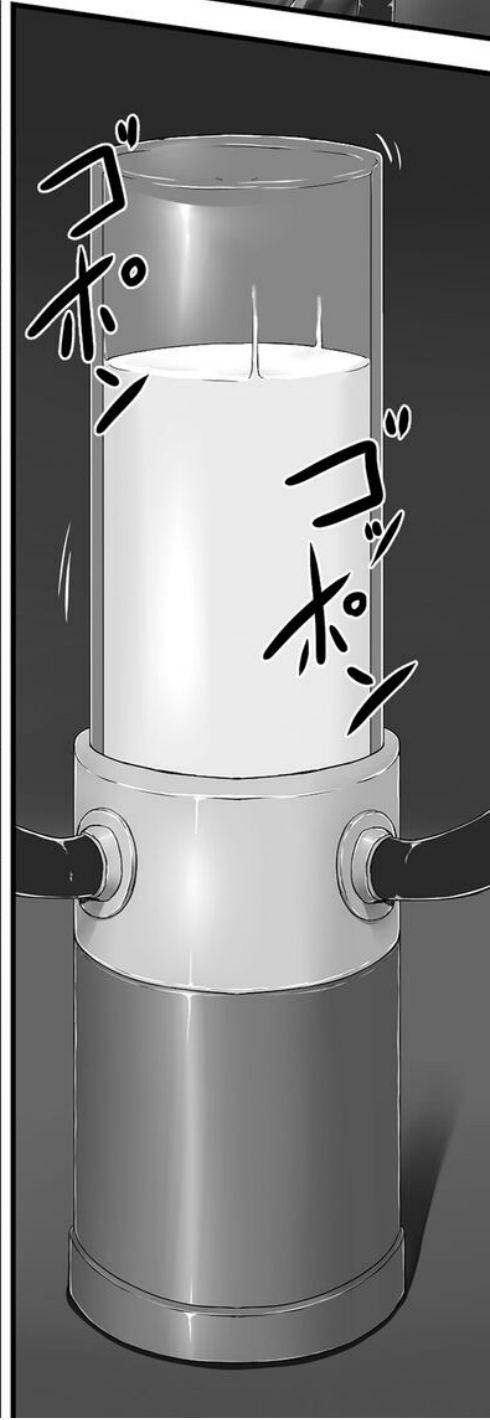
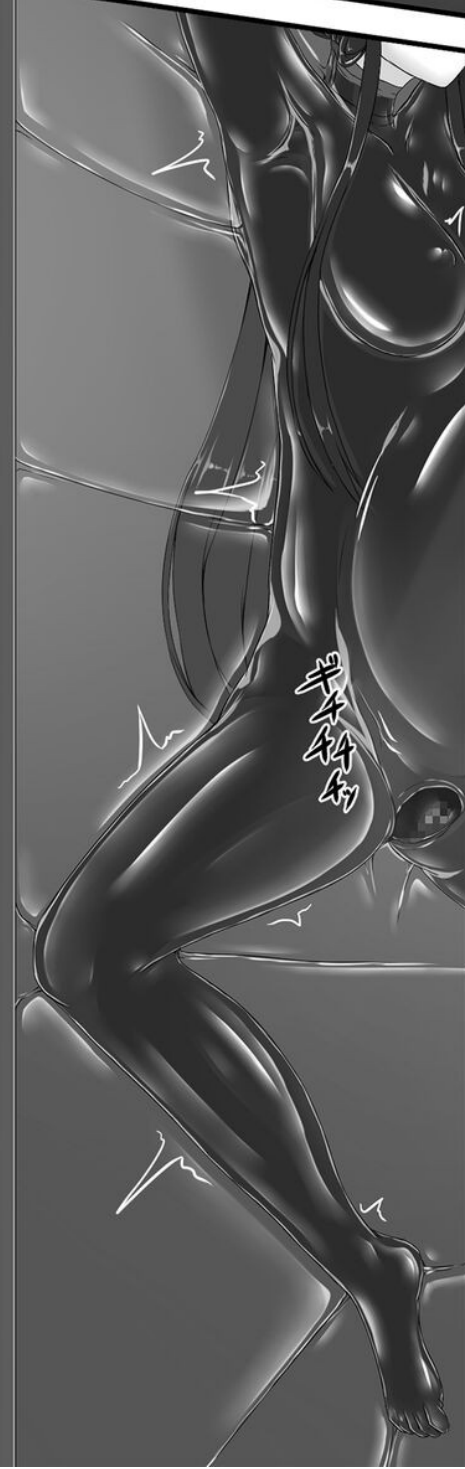
そんな馬鹿げたゲームを
本気でやらされ最後には…

晒し物にされる

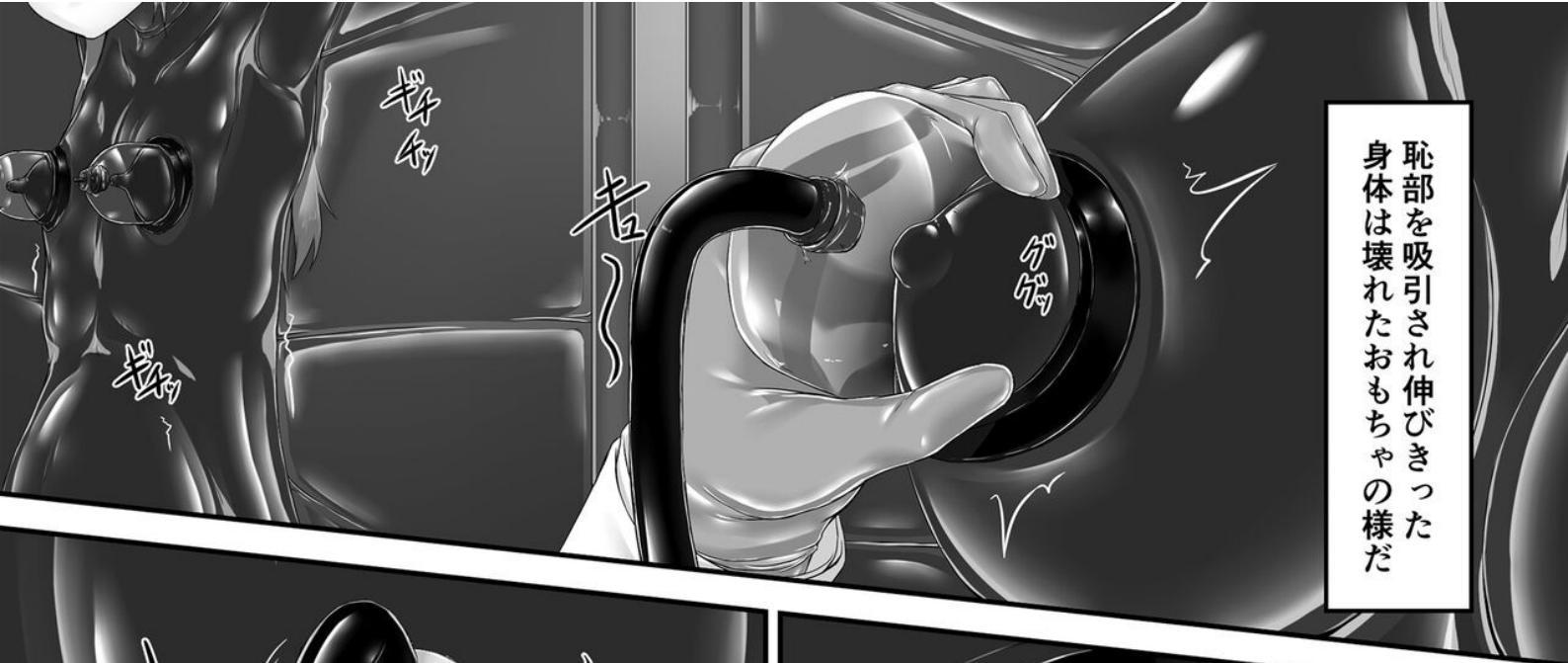




白濁のゼリーの様な液体を
大量に注入され膨れ上がる腹



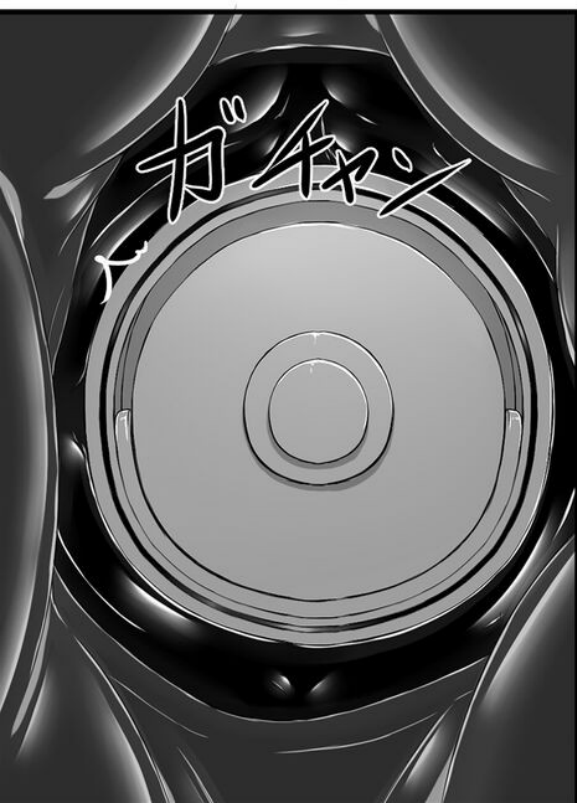
その苦しみから逃れようともがくが
全身は透明なゴムの膜に磔にされており
ひたすらその醜態をさらす



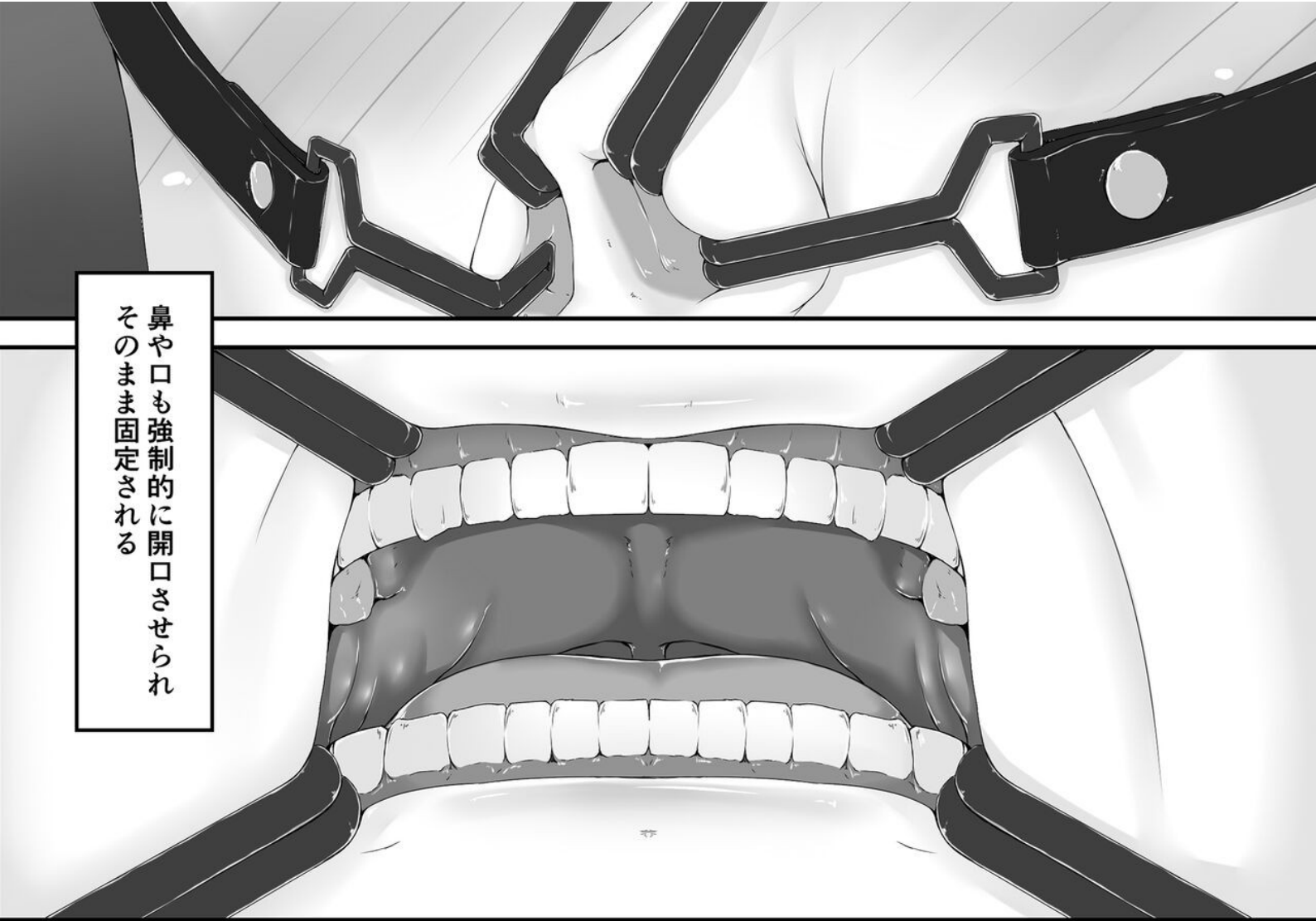
恥部を吸引され伸びきった
身体は壊れたおもちゃの様だ



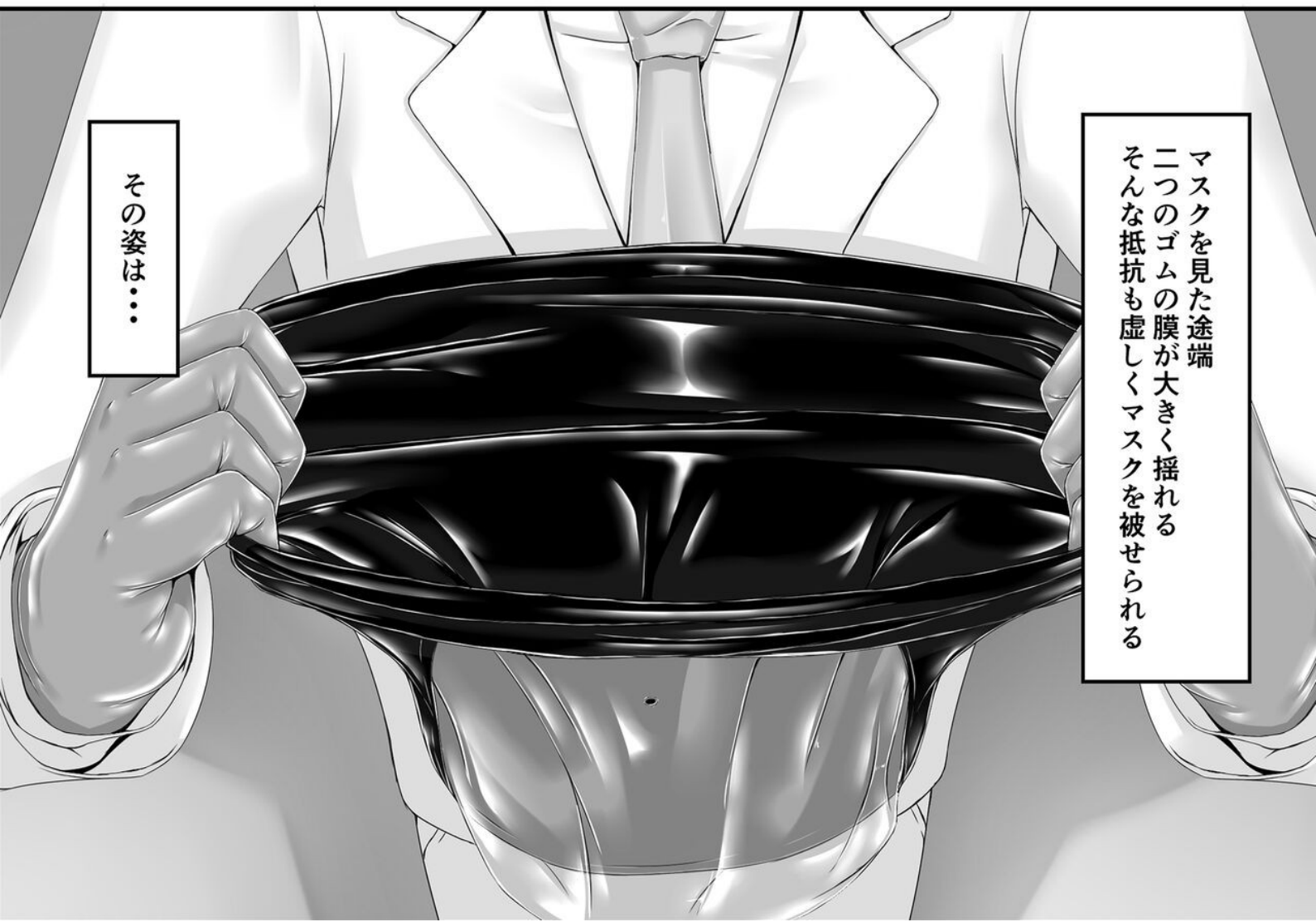
開発しつくされた部位は
装置を装着されただけで
絶頂しているように見える



腹の中はすでに満たされているのに
人の腕ほどの太さと長さのモノを入れられ
ロックを掛けられる



鼻や口も強制的に開口させられ
そのまま固定される



マスクを見た途端
二つのゴムの膜が大きく揺れる
そんな抵抗も虚しくマスクを被せられる

その姿は……

醜い

そんなものを
触れることのできない
格差というガラスを通して
大勢の人間が見ている

格差のケージに囚われた者たちを
この三日間散々見てきた

まさかその醜い物に…

空気をむさぼるたびに
破壊される顔面と快楽に堕ちる



その羞恥の極致ともいえる
醜態を晒す姿に私は魅了された





商品番号239番から
始めさせていただきます

お手元のタブレットから
入札よろしくお願いします

どんな世界でも
ゴミを捨てるのは
本当に面倒だ…

某企業のスパイとして
活動していた…

消息不明の元人気アイドル…

しかしどんなゴミでも
買い取る者がいる
ならば売ってしまえばいい

写し鏡のような双子の…



どんなモノでも引き取り手はいるのだから



ギアッ...

ビクッ

ビクッ

ギアッ...

あとがき

どうもしょーやんです！
現在3月28日21時です。3月頃に出しますと、
上巻で予告していましたがギリギリになり申し訳ございません。
読んでわかっていただけると嬉しいのですが、
前半ページが消費カロリー高すぎる…線画や色塗りをしている時に、
ラフを描いた時の自分にキレながら作業していました。
そんなこんなで遅くなりましたが、
手にとっていただきありがとうございます！

今回ですが前回の上巻の続きの下巻となります。
『バカみたいなことを本気でやらされる惨めさ』
みたいなものを書いてきましたが、いかがでしたでしょうか？
作品の一部にされたり、顔だけ出たラバー姿で辱められたり、
大衆の前で顔面を破壊されたりと色々描きましたが、
個人的には最後の顔面を破壊が気に入っています。
呼吸制御マスク(?)フェイスハガーの組み合わせは描いてみたかったので
楽しかったです。
呼吸制御系のプレイは苦手なジャンルだったのですが描いてみると
意外と楽しい(笑)
マスクをつけられるときの喚く感じはある意味僕の本心ですね。
ただただ晒されているという感じを出したくて最後の二人のセリフは
入れませんでした。

Beginning blackシリーズはまだ描いていくつもりですが、
『気持ちよければいいじゃない』の方も
もう少し伸ばしたいのでお付き合いいただけると嬉しいです。
これからも頑張って描きますのでよろしくお願いします。

妄想美術部/しょーやん

